

Press-release/E-flashから

『ITUジャーナル』編集部

Press-release

①4月21日：

次世代ネットワーク ワークショップ

インターネットエンジニアリングタスクフォースと共催

ITU to hold Next Generation Network Workshop

Event Co-organized with the Internet Engineering Task Force

(出典：http://www.itu.int/newsroom/press_releases/2005/03.html)

ITUは、次世代ネットワーク（NGN）のワークショップを、2005年5月1～2日、ジュネーブでIETF（Internet Engineering Task Force）と共催する。ITUは、2004年5月よりNGNのサービスやネットワーク及びシステム構成の標準化に向けて、精力的に活動を進めてきている。本ワークショップの目的は、NGNにおけるITUのこれまでの活動の成果を報告するとともに、ITUとIETFの双方が進めているNGNの課題を明らかにし、互いの今後の活動を一層効率的に進めさせることである。Houlin Zhao ITU標準化局長は、「我々がここまで進んでこれたのは、ITUメンバーやIETF、ETSI（The European Telecommunications Standards Institute）、ATIS（Alliance for Telecommunications Industry Solutions）などの標準化関連団体メンバーのおかげである。NGNの標準化が成されれば、今後、数多くの製品やサービスがつくられていくであろう。」と述べている。6つあるセッションでは、ITU及びIETFの代表が共同議長を務める予定である。注目点としては、固定及びモバイルユーザーに完全なシームレス環境を提供する「nomadicity」技術や、重要性が増してきているセキュリティ等がある。

②5月4日：

テレコムに新しい地域イベントを追加

新しく欧州を加えたテレコムイベントの概要を発表、開催地の募集もスタート

ITU Unveils New Addition to TELECOM event Portfolio

ITU outlines upcoming series of TELECOM events - including new "EUROPE" event - and launches process for selection

of host venues

(出典：http://www.itu.int/newsroom/press_releases/2005/04.html)

新しくヨーロッパ地域での開催を加え、地域テレコムは世界4地域での開催となる。2007年にはアメリカ、ヨーロッパ、2008年にはアジアとアフリカで、そして2009年には世界規模のイベント、テレコムワールドが予定されている。ヨーロッパ地域のテレコムでは、先進のICTの導入・普及が見込まれているヨーロッパ新経済圏、CEE（Central and Eastern Europe）そしてCIS（the Commonwealth of Independent States）市場に焦点を当てたイベントとなる。ITUのテレコムには、世界中から電気通信市場に大きな影響力を持つ、政府・産業界の要人・著名人が参加するので、日ごろ目立たない地域の活動や地域企業の製品やサービスを広く世界に知らしめることができる。インテルのSean Maloney上級副社長は、「直面している課題について、自由に意見交換できることは、業界の発展にも役立つ。加えて、展示からどんな新技術やサービスが作り出されているのかを知ることができる。」と述べている。今後のテレコムイベントでは、新しい、成長著しい企業の参加が多数見込まれており、より広範囲にわたる展示とフォーラムが展開されよう。また、カスタマイズを進めた、そのまますぐに使えるブースを用意し、参加企業が施設会場を活動拠点として利用できるテレコムビレッジや、宣伝効果の高い各種スポンサーパッケージなどを用意し、参加企業への便宜を図っていく。

また、ITUでは、今後の地域並びにワールドテレコムの開催ホスト国を募集し始めた。ホスト国になれば、イベントによる収入ばかりでなく、ホスト国自体、さらには同国のICT産業を世界に知らしめることができる。昨年ブサンで開かれたテレコムアジアは、戦略的立地条件から選定され、テレコムアフリカはヨハネスブルグ、ナイロビ、カイロと、地域各所で開かれている。テレコムアメリカは、アカブルコ、リオ・デ・ジャネイロ、そして本年10月はブラジルのサルヴァドール・デ・バイアでの開催となる。前回ジュネーブで開かれたITUテレコ

ムワールドは、次回2006年、香港開催となる。テレコムワールド開催地の選考は、政府による支援の程度、開催会場の利用料金とインフラの状況、ホテルの収容人数と価格、交通機関の便、ICTインフラ、ホスト国における出展希望者数等を勘案して決めることとしているので、メンバー国が積極的に応募することを期待している。オファーを受けた後は、調査団が開催候補地を訪問し、調査結果をテレコム委員会に報告する。最終的には、委員会から推薦された候補地の中から、事務総局長が決定する。テレコム委員会は、テレコムイベントについて事務総局長に戦略的アドバイスをする組織で、地域的バランスを踏まえた関係者から構成される。

E-flash

③ITU-D e-Flash no.10 (5月3日)

(出典: <http://www.itu.int/ITU-D/e-flash/2005/may/html>)

・WTDC-06欧州地域準備会合においてITU開発アクションプランの未来が描かれる

The Regional Preparatory Meeting for Europe for the World Telecommunication Development Conference (WTDC-06) Shapes the Future of the ITU Development Action Plan

2005年4月18～20日までルーマニアのブカレストにおいて、2006年3月7～15日にカタールのドーハで開かれる世界電気通信開発会議(WTDC-06)に向けた欧州地域準備会合が開催された。この会合は、ルーマニア情報通信技術省の招待により開催されたもので、24か国及びITU-Dの6セクターメンバーから82名が参加し、WTDC-06に向けた地域及び準地域における開発戦略について議論された。

・センターオブエクセレンスネットワーク(CoE)のプロジェクト継続に向けて一歩前進

A Further Step Towards the Sustainability of The Centers of Excellence Network (CoE)

CoEは、地域活動であり、各地域ごとに電気通信分野の政策、規則、管理、技術に関する専門家やノウハウを持った人材を育てている。2005年においては、世界中で5,000人に及ぶマネジャーやデシジョンメーカーなどの幹部に対する訓練を予定している。幾つかのCoEでは、既にビジネスプランを立て、資金調達にめどをつけたところもある。また、アラブCoEや欧州CISでのCoEでは長期継続化に向けた取組を始めている。2005年3月20～22日まで、エジプトのカイロで、

第3回アラブ・センターオブエクセレンス(CoE/ARB)総会が、エジプトのNTI(National Telecommunication Institute of Egypt)の協力により開催され、アラブの12か国から35人が参加した。アラブCoEは、この3年間で30以上の訓練プログラムを実施し、2,300人以上を育てるという実績をあげたことが紹介された。

・開発途上国向け既存移動体ネットワークからIMT-2000への移行に関するガイドラインが完成

Guidelines on the Transition of Existing Mobile Networks to IMT-2000 for Developing Countries is Available

ITUは、開発途上国の通信事業者、通信政策等の担当者が既存の移動体ネットワークをIMT-2000へ移行する際の中期的ガイドラインを発表した。ITU-Dメンバーは無料でダウンロードすることができる。

・ITUと中国、電波監視の訓練を共同で実施

ITU and China Team Up for Cooperation in Radio Monitoring Training

2005年5月23～30日まで、中国の北京において無線送受信の原理、電波監視、周波数管理及び測定に関する訓練が行われた。この訓練は、ITUが中国情報産業省の電波規制部門と共同で実施したもので、ITUは、アフガニスタン、インドネシア、ミャンマー、モルディブ、ソロモン諸島からの参加者に参加費用の支援を行い、中国は電波監視装置と訓練講師を提供した。

・科学学術団体に関する世界的データベースを構築

Building the Global Knowledge-Based Information Society on Scientific Institutions

ITU/BDTの市場・経済・財務ユニットは、WSIS行動計画案実施の一環として、通信/ICT分野の科学学術団体に関する世界的データベースを構築した。このデータベースは、経済、管理、規制、技術の分野における通信/ICTにかかわる科学学術団体のデータを集めたもので、無料で利用することができる。

・ITU-Dセクターメンバー、300を超える

ITU-D Sector Membership Surpasses 300!

ITU-Dのセクターメンバー数が、初めて300を超えた。これは、2005年1月に15の組織が新たに加わったことで、ITU-Dの総セクターメンバー数が302になったものである。